



院生・教職員対象「今の考え方をまなぶ」全学プログラム

「大学で 教える」

を学ぼう。



2024年度 東大FFP23期 受講者募集

4月8日(月) 午前9時 締切

オンライン説明会開催 4月5日(金)17:00-18:30

🔍 東大FFP

オンライン



UTokyo

FFP

Future
Faculty
Program

東京大学フューチャーファカルティプログラム「東大FFP」とは？

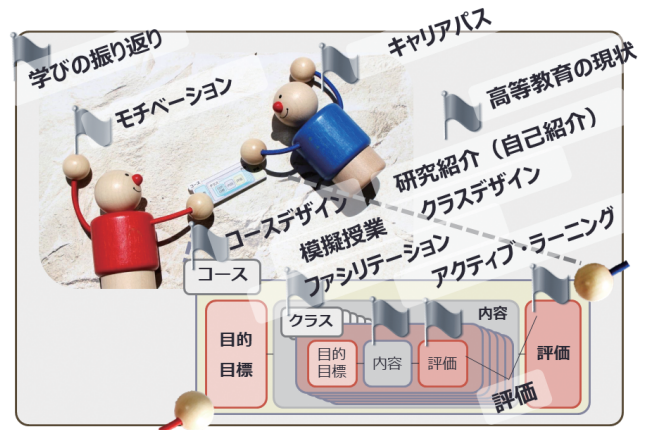
近年、大学は研究機関としての役割だけでなく、教育・人材育成機関としての役割を一層問われるようになってきています。そして、そこで働く大学教員にも、「**優秀な研究者**」であると同時に「**優秀な教育者**」でもあることが一層求められつつあります。例えば、教員採用において、論文や学会発表などの研究業績に加え、単なる教育歴だけでなく教育スキルが重要視され、シラバスの提出や模擬授業などの実施を求める機関が増えつつあります。

東大FFPはこうした大学および大学教員に対する新たな要請を踏まえて、大学院生やポストドクター、若手教職員が教育者として向上することを支援し、実践的な能力を身につけようとする目的に開設されました。東大FFPでは、アクティブラーニングの様々な方法を体験しながら、学習者主体の教育を実現するための知識・技術を学びます。

多様な研究分野の仲間と交流しながら、「**大学で教える**」ということについて学び、考えてみませんか？

受講のメリット

- 1 全学の多様な研究分野の人とネットワークを作ることができる
- 2 公式の履修証が交付され、履歴書に書ける
- 3 大学院生は各研究科の既定の範囲で単位認定がされる
- 4 修了生のネットワークがあり、研究会や公募の情報などが得られる



東大FFPのグラフィック・シラバス(プログラム内容の図示)

エントリーの流れ

東大FFPへの参加を希望される東京大学の大学院生、ポストドクター、若手教職員の方は、プログラムの詳細及びシラバスをよくお読みになり、以下の要領でお申し込みください。

■ プレエントリー(任意、常時受け付け)

↓
ウェブサイトのフォームからプレエントリーをしてください。ウェブサイトからプレエントリーをしてくださった方には、夏学期と冬学期それぞれの東大FFPの募集開始時と、募集締め切り前に、ご案内のメールをお送りしています(年間合計4回程度)。

■ 本エントリー(夏学期…3月、冬学期…8月から9月頃)

↓
ウェブサイトのフォームから本エントリーをしてください。募集期間は約1か月です。

■ 受講者決定

↓
本エントリーをしてくださった方が定員を超える場合、受講者のセレクションを行います。受講の可否については全員にメールでご連絡いたします。

■ 履修登録(大学院生のみ)

↓
単位取得が必要な大学院生は、履修決定通知後に「大学教育開発論」の履修登録を所属研究科において行ってください。

■ 受講

主なトピック

- ◆ 高等教育の現状
- ◆ 評価の方法
- ◆ クラスデザイン
- ◆ シラバス
- ◆ アクティブラーニングの諸技法
- ◆ 模擬授業演習
- ◆ 学習科学
- ◆ キャリアパス

担当教員 栗田佳代子・朴源花・芳賀瑛・鍋田修身
開講時間 木曜日・金曜日 2 限連続(原則隔週)
受入人数 木曜日クラス 25 名、金曜日クラス 25 名

詳しくは▶ <https://www.utokyofd.com/ffp/>

Q & A

- Q 学会参加などで特定の日だけ参加できない場合、別の日に受講することは可能ですか？
A 木・金曜日間で、特定の日だけ参加を振り替えることが可能です。ただし欠席が3回以上の場合は修了要件を満たしません。
- Q 「単位はいらない」という場合にも受講可能ですか？
A エントリー後、選考を通過いただければ、履修登録をしなくても受講可能です。
- Q 教職員でも受講は可能ですか？
A 受講は可能です。また、教職員の方々はオブザーバー参加も可能です。詳細についてはご相談ください。

お問い合わせ

東京大学 大学総合教育研究センター 東大FFP担当

<https://www.utokyofd.com/contact/>



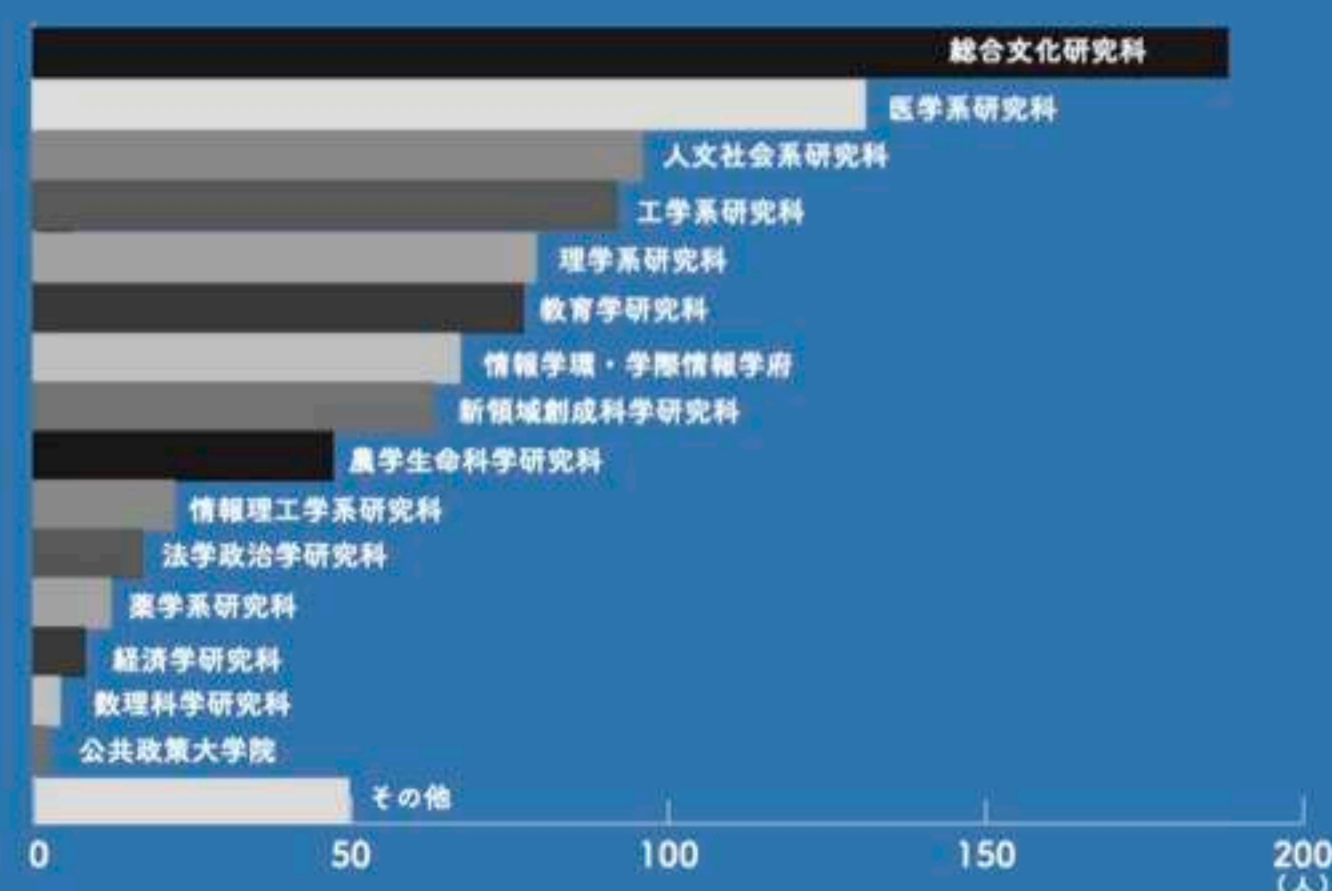
受講者の特徴

東大FFPには東京大学の全研究科から応募があり、過去10年間で合計954名の方々がプログラムを修了しています(2023年3月時点)。

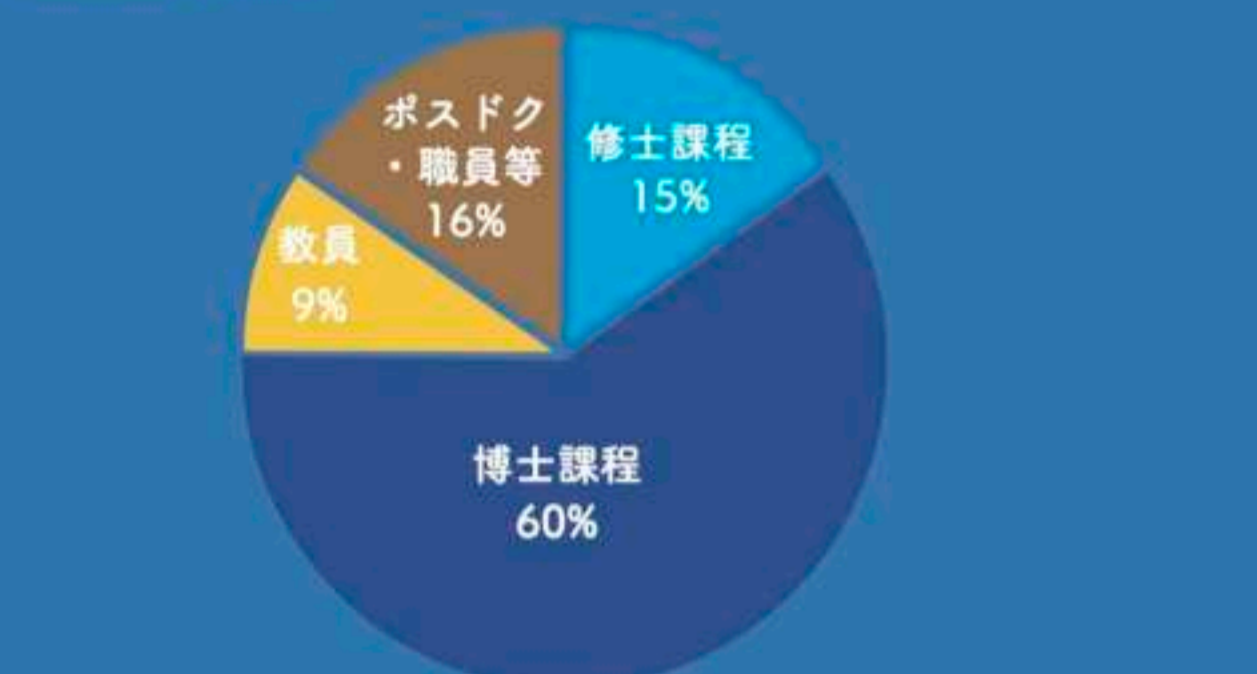
*修了者の日本学術振興会特別研究員採用経験者の割合は、29.9%

*学内外からのオブザーバーの数は69名

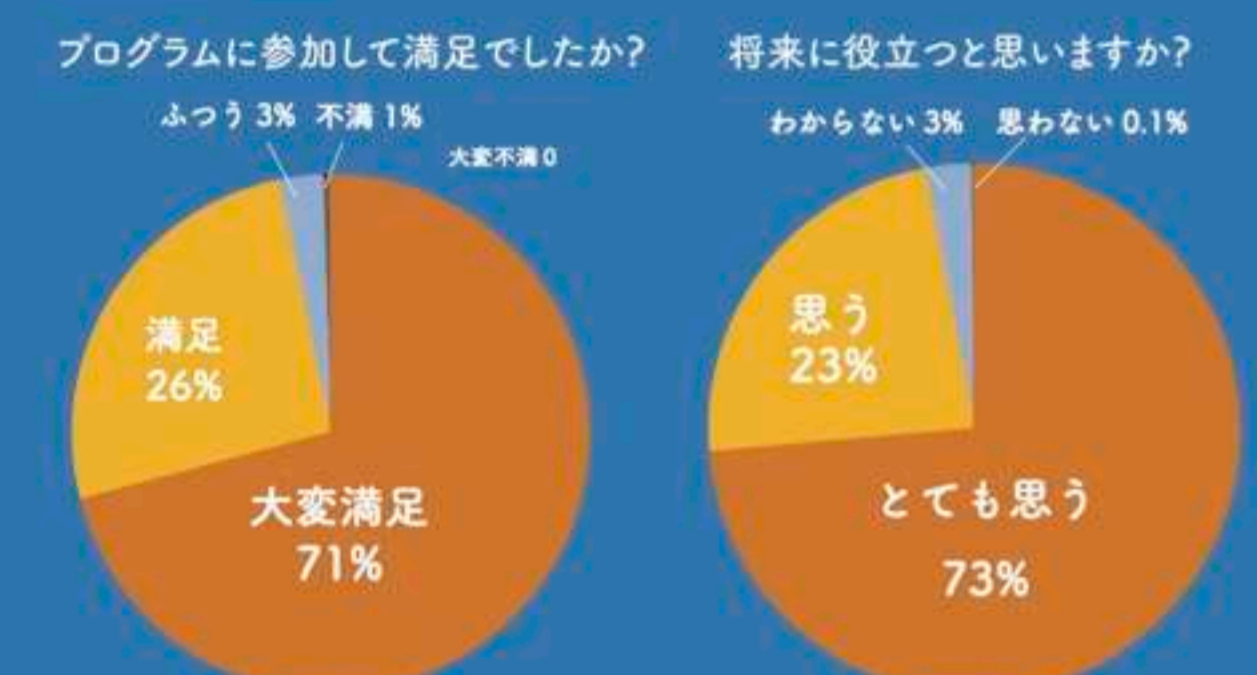
所属別修了者数 (2013-2022年)



受講者の構成 (教職員・ポストを受入開始した2016年以降の平均)



修了者の感想 (2013-2022年)



開講スケジュール

S・Aセメスター(定員各25名×2クラス)開講

※基本的にオンライン授業です。詳細はウェブサイトにあるシラバスを参照ください。

<受講までの流れ>



東大FFPエントリーサイト



<https://www.utokyofd.com/ffp/attend.html>

お問い合わせ

東京大学大学総合教育研究センター 東大FFP担当

utokyo_fd@he.u-tokyo.ac.jp

<https://www.utokyofd.com/contact/>

「大学で 教える」 を学ぼう。



東京大学 フューチャーファカルティプログラム 「東大FFP」とは?

いま、大学教員には「研究者」としてだけでなく「教育者」としての役割が、より一層求められています。また、教育は「いかに教えたか」から「いかに学んだか」へ、つまり学習者が主体となる場づくりが当たり前になりつつあります。こうした流れを踏まえ、東大FFPは、大学院生や教職員等が教育者として成長することを支援し、実践的な能力を身につけることを目的に、大学総合教育研究センターから提供されているプログラムです。多様な研究分野の仲間と交流できるのも魅力の一つです。東大FFPの受講を心よりお待ちしております。

東大FFP受講の目的

- 1 学生の学びを喚起する教員になるために必要な知識・スキルの修得
——— 教育者としても探求し続ける姿勢の獲得
- 2 多様な専門領域にわたるネットワーク構築
多様な視点と豊かな人間関係の獲得
——— 多様な視点と豊かな人間関係の獲得

その他のメリット

- ・ 全学の多様な研究分野にわたるネットワークを作ることができる
- ・ 公式の履修証が交付され、履歴書に記載できる
- ・ 大学院生は各研究科の既定の範囲で単位認定がされる
- ・ 修了生のネットワークがあり、研究会や公募の情報などが得られる

東京大学フューチャーファカルティプログラムは、1回2コマ分・全8回で構成されています。

主な講義内容

DAY1/イントロダクション

まず、高等教育の変化について概観し、本プログラムの概要と意義を確認します。その後「教員としての1分間研究紹介」を行って自己紹介の価値を理解しつつ、受講者相互の連携を高め、学ぶ環境を整えます。

DAY2/クラスデザイン

1回分の授業設計の基礎について学び、構成の指針や観点も踏まえて、実習として本プログラム後半に行う模擬授業の設計を行います。そのために学習者主体の授業方法としてアクティブラーニングの複数の手法について、体験を通し学びます。さらに学生の主体的な学習が「実る」ために不可欠なモチベーションについても理解を深めます。

DAY3/評価の方法

授業における評価の意義や具体的方法について学びます。特に、学生の学びを促しレポート課題などの評価に役立つルーブリックを実際に作成します。

東大FFPのその他の取り組み

■ 修了生が集うメーリングリスト

東大FFPではプログラム修了後も交流を続けるためのネットワークがあります。勉強会や非常勤講師募集、懇親会などの各種情報をメーリングリストの形式で誰もが発信・受信できます。

■ 実践機会の提供

総合図書館との共催で「東大院生・若手教員によるミニレクチャプログラム」を実施しています。プログラムにおける模擬授業において「優秀模擬授業」に選ばれた方に、図書館という場でレクチャを実施いただいています。

DAY4/コースデザイン(シラバス)

シラバスの基本的構成を知り、作成の目的と役割の重要性について理解します。自身の専門についての初年次教育を担当すると仮定したシラバスを作成します。特に授業の構造化に役立つグラフィックシラバスに取り組みます。

DAY5/模擬授業の検討会 & まとめ

DAY6・7に行う模擬授業実施に向けて、受講者代表(2例)の模擬授業検討を全員で行い「良い授業」の観点共有を図ります。後半は、これまでの学んだことについてポスターツアーというアクティブラーニングの技法を経験しながら振り返り、まとめたことを共有します。

DAY6/模擬授業演習(1)

少人数のグループに分かれて模擬授業の演習を行います。メンバー同士で相互評価を議論を重ねつつ、授業デザインや教授方法について学びを深めながら、模擬授業の改善を図ります。

■ 書籍の出版

多様な研究領域から受講生が集う本プログラムの特性を生かし「博士になったらどう生きる? — 78名が語るキャリアパス」(2017年勉誠出版)が発刊されました。博士取得後の多様なキャリアパスの事例について東大FFP修了生が各専門の先達に行ったインタビューをまとめた書籍です。
https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/ja/C_00127.html

■ 研究力を高める

日本学術振興会特別研究員応募のための申請書作成を支援するワークショップを開催しています。採択経験のあるメンターのもとで、申請書のブラッシュアップを行います。

DAY7/模擬授業演習(2)

DAY6から改善された模擬授業を実施します。再度、相互評価を行い授業改善の意義を理解し、良い授業の観点を自分なりに把握します。

DAY8/キャリアパスの展望

構造化アカデミック・ポートフォリオ・チャートという方法を用いて、自分の教育・研究、その他の活動についてふりかえって俯瞰し、その活動の核を見出します。大学教員としてのキャリアパスを展望します。

詳しくはシラバスを御覧ください。
<https://www.utokyofd.com/ffp/about.html>
ページ中ほど「メリット」の上からダウンロードできます。



東大FFPの関連教材

■ 東大OCW

東大FFPの実際のオンライン授業を公開しています。
https://ocw.u-tokyo.ac.jp/course_11441/



■ Coursera「インタラクティブ・ティーチング」

東大FFPが基盤のオンライン講座です。どなたでも受講可能です。Courseraの修了証を取得できます。
<https://coursera.org/learn/interactive-teaching>



修了生メッセージ

研究や論文執筆と同様に、教え方も体系的に学ぶことが必要と思い、受講しました。受講時の内容は教室での授業を想定していたものでした。一方、コロナ禍での初授業はオンラインでの実施でしたが、授業デザインや実施における本質的なポイントを学んでいたため、それらをオンラインでどう実装するかという観点で授業に臨むことができました。また修了生の方からオンライン交流会で助言を頂いたり、授業のリハーサルを手伝って頂いたりしたことも心強かったです。高等教育を実施するすべての方に受講して頂きたいプログラムです。

藤原 綾さん

受講当時の所属は医学系研究科健康科学・看護学専攻。東大FFP修了後は、国立健康・栄養研究所にて特別研究員として公衆衛生政策の実施・分析に携わるほか、非常勤講師として大学で公衆衛生の講義を担当。



東大FFPは人生を変える講義でした。受講時は社会人院生で、非常勤講師の準備のために受講しました。知識の提示と受講生の実践で構成された2コマ連続講義は、無駄な時間が一切なく能力をフル回転させることから、毎回心地の良い疲労感が残りました。最先端の知見と綿密な準備が、受講者の能動的で豊かな学びを実現できることを知りました。修了後に臨んだ公募では、クラスデザインシートやグラフィックシラバスを活用し模擬授業を行いました。その結果、正規教員のオファーを得たことから新たな道へ進むことを選びました。

勝野正博さん

受講時は、情報学DYMメディアパートナーズ勤務。学際情報学博士課程。東大FFP修了後、2021年より目白大学メディア学部准教授に着任。専門はメディア論。講義に加え社会連携プログラムの開発・推進を担当。

